



まちの

柿味町・津野町から交換留学生



交換留学生歓迎セレモニー

小学生4人が冬の寒さを体験

訓子府町の姉妹町・高知県津野町から小学生4人の交換留学生と津野町教育委員会の中山美紀さんが2月4日に来町しました。

今年、来町したのは6年生の山田愛華さん(中央小)、市川未悠さん、高橋桜彌さん(以上葉山小)、片岡裕太さん(精華小)です。

今年度から、冬季の来町となり、児童たちは厳寒焼肉やさむさむまつりなどの行事やスキー、スケート学習など冬のイベントを満喫。児童たちは「路面がつるつるで驚きました。転ばないように気を付けます」など北海道の冬に驚きながらも、勉強や遊びを通して交流を深め、たくさんの友達をつくり、9日に離町しました。



繰り広げられた熱き戦い

オホーツク玉入れ選手権大会

第15回オホーツク玉入れ選手権大会が2月12日に町スポーツセンターで開かれ、訓子府町内をはじめ北見市や置戸町、紋別市などからジュニア6チーム、一般17チームが参加しました。

身長よりはるかに高いバスケットをめぐり、1チーム4人から6人の選手が100個の玉を投げ入れる速さを競い、会場内は熱気に包まれました。

一般の部では「ピロクグリーン(口ケツル)ティース(美幌町)、ジュニアの部では「Kojis Jr.」(置戸町)がそれぞれ優勝しました。訓子府町のチームは一般で4チーム、ジュニアの部で3チームが参加し、練習の成果を発揮しました。



わくわく園 人権教室 人KENまもる君がやって来た



訓子府町や置戸町、北見市の人権擁護委員4人と「人KENまもる君」が2月13日にわくわく園で、5歳児を対象に人権教室を開催しました。

「困った人がいたら親切にする」「お友達と仲良くする」「お年寄りを大切にする」など、やさしさや思いやりの心を育てることを目的に、わかりやすい紙芝居を通して、園児たちは人権について学びました。

また、人権イメージキャラクター「人KENまもる君」が登場し、塗り絵や折り紙を園児にプレゼントしました。



わだいの

園児たち大満足

居小、ふれあい集会を開催

居武士小学校でわくわく園の5歳児を招き、ふれあい集会を1月27日に行いました。

園児たちは、射的やボウリング、もぐらたたきなど児童が手作りしたゲームで楽しみながら遊び、折り紙などで作った景品を手にし、喜びの表情を浮かべていました。



第42回音楽の広場 9団体が出演

第42回音楽の広場が1月29日、町公民館で開かれ、訓子府小学校スクールバンド、訓子府中学校吹奏楽部、訓子府高等学校吹奏楽部、オニオン吹奏楽団、訓子府町青年団体連絡協議会(合唱)、ザ・マヨネーズ(軽音楽)、黎明会(大正琴)、だ・かゝほ(大正琴)が出演しました。

吹奏楽合同演奏では、開幕120年を記念して「わが地・わが町 訓子府」が演奏されるなど、会場から大きな拍手が送られました。



わくわく園児 各行事、元気よく楽しむ

わくわく園児 親子で冬の レクリエーション

わくわく園の冬の親子レクリエーションが1月28日にグラウンドで開かれました。

晴天に恵まれながらも、冬の寒さが身に染みる中、親子でソリを使うたりレーや異年齢でグループ分けした綱引き、宝探しなどが行われ、寒い冬を親子で楽しみ、交流を深めました。



節分にちなみ、 豆まきを行う

節分にちなみ、わくわく園で2月2日に豆まきが行われました。

父母も協力し、鬼の衣装を身に付けて、太鼓の音とともに園児たちの前に登場。

園児は「一緒に豆をぶつけ」「鬼は外」と叫んだり、泣きながら逃げ回ったりしていました。